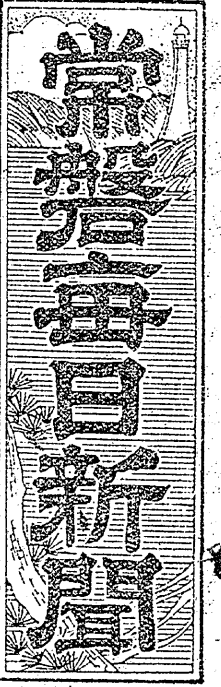


刊夕日九月一十



定価 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
 廣告料 五圓以上 二角五分 一角五分 八分 五分 二分 一分
 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部
 發行所 常磐毎日新聞社 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部
 電話 六三三〇 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部
 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部 印刷部

文字禪

眞繼雲山

支那人は一見して薄馬鹿のボンヤリに見えるが、外交に巧みなところを以て見ると、アレでなく、智慧がある。

かつて南京領事館汚辱事變で、實弾二發を反らし撃ちにして度膽を抜き、命ばかりはと領事に手を合はせ、たあたりの手並は、禪機躍々ぢや。

今度の日支事變にしても、滿洲で逃げ廻つてゐる間にソツと英國と握手して肩すかしをやる所など、禪味なき霞ヶ關の我が外交など、足許へも寄れぬ。支那の弱いは戦争だけぢや。

それは兎に角として、今日私たちが使つてゐる何千何萬といふ漢字は皆んな彼れ等の創案にかゝるものである。

日本人が僅かに平かな片かな合計百字ばかりを發明したのに比して、支那人の智慧は天地霄壤の高きにある。今日の動物學から割り出して獸類に屬すべき鯨を魚と見て「くじら」を魚偏にしたのは千慮の一失ぢやとケチをつけるが、鯨の息の吹き方何とあらうと、形から見て直感的に、鯨は矢つぱり魚であつて獸ではない。

若しそんな屁理窟が通るものなら、この節は人面にして獸心なるもの甚だ多いがこれ等は獸偏に人と書かねば、その實體は表現されまい、また年中、金のごとばかりにケチ／＼して溜めてゐる守銭奴や、貧乏人を泣かせてゐる富豪資本家も多きが、斯ういふ連中は、人偏に金金と三つくらゐも書かねば、釣り合が取れない。支那人の作つてゐる字で、近頃私が一番感心させられてゐるのは「花」といふ字である。

花は草といふ本體がテラリと變化した迄のものである。つまり草のおぼけが花だといふので、草かんむりに化と書いて「花」と讀ませた。佛教の悟りを一足先きにしてゐる所、支那人センセイもなか／＼隅にはおけぬその流儀でゆくと波は水の化である。

水といふ本體が假りに盛り上つたのが波であるから、本統はサンズイ偏に化と書いて波と讀ませるべきであつた所を、波は水の表皮だと見て、サンズイ偏に皮と書いて波と讀ませた。波を水の皮だと見た邊が如何さま支那人式の智慧である。この筆法でゆくと、森羅萬象一切は眞如の化現であるから「眞如偏」に「一切」と

書いて「森羅萬象」と讀むやうにしておいてくれたらう。大抵の凡夫でも悟れたらうにと思はれるが、字畫に限りがあるから、さう注文通りにもゆくと、花の壽を按ずるに、朝顔は露の干ぬ間、月見草は一日櫻は三日、牡丹、野菊は十日、廿日と相場に長短はありとも何れは散りゆくべき運命の持主。古いけれ共、萌え出づるも枯るとも同じ野邊の草。あはで果つべき。何れか秋に。人生五十年といふも、たゞ花の延長に過ぎぬ。然り人生は一朝の權花である。その果敢なき花の宿をしてゐるのが人間に外ならぬのであるから、本來よりいへば、花かんむりに慾と書いて、人間と讀ませるべきであつたのを、竿頭一歩人間そのものを「おぼけ」と見て「化」といふ字を作つた成るほど人間は眞如のおぼけに相違ない。一化五十年それが人間の實相である。人偏を附して「おぼけ」の一宇としたところ、巧拙の二邊を脱して甚深微妙である (續く)

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

江戸前料理 合巻
 秋の味覺をそゝる松茸が出廻り
 食卓に芳香をはなつてゐる……
 松茸料理 始めました
 ぜひ一度御試食下さい
 出前迅速 錦水
 田町(電話四五四)

安賣
 舶來生地メニスカス近眼玉 一組 一圓拾錢
 優等品白生地栗山近眼玉 一組 六十錢
 新メニイ玉ストロシ
 イロイロ 色 各二組 四十錢
 イロメガネ
 五令番と廿五番セル卷淵 三十五錢ヨリ
 クローム製淵 三十錢
 理想のメガネ正十八金セル卷 玉入 八圓四十錢
 大形絹天張眼鏡入サツク 十二錢
 精幸堂時計店
 平町 向店車動自チクキ路小穂才

嵐しの如き絶讃裡に迎えられ
 白熱的狂瀆裡に愈々堂々公演
 十三日より
 短期三日間限り
 聴き逃す勿れ。見落す勿れ全市ファン最後の御一人まで……
 説明界の 生駒雷遊先生と
 大権威 木村時子嬢一行
 帝都界の名星 木村時子嬢一行
 名映畫と名説明とレビユーの夕べ開催
 米國大メトロ映畫社特別提供
 美男ラモン・ナゲアロ 共演
 美女ノーマ・シアラー 共演
 愛と涙の交響樂・悲戀の哀詩

思ひ出 大作 十二卷
 生駒雷遊先生
 帝都レビユー界の女王 木村時子嬢一行
 KI 舞踊團の大レビユー
 東亞キネマ社時代劇
 青柳龍太郎・東與二郎・澤村勇共演
 鐵血三浪人
 帝キネ會社時代劇
 明石緑郎・草間實主演
 め組の喧嘩
 皆様の 有聲座
 娛樂の殿堂

皆様の 有聲座
 娛樂の殿堂
 め組の喧嘩
 帝キネ會社時代劇
 明石緑郎・草間實主演
 鐵血三浪人
 帝都レビユー界の女王 木村時子嬢一行
 KI 舞踊團の大レビユー
 東亞キネマ社時代劇
 青柳龍太郎・東與二郎・澤村勇共演
 鐵血三浪人
 帝キネ會社時代劇
 明石緑郎・草間實主演

月曜言論

婦人會と托兒所

先般平第一小學校に縣主催の農村托兒所講習會が開催され余も其の一講座を擔任して壇に起つた際自分の講座とは關係がなかつたが托兒所に對する感想の一端として左の如く披瀝した何處の婦人會にも影の型に添ふが如く、小兒の姿を數多く見受ける、是れは無理ならぬ事、婦人が男子よりも小兒保育の重大な責めの多くに任じて居る以上、けふは婦人會であるからとて其手から幼兒を切り離して、自分一人洒々と婦人會に出席する譯にはゆかない故に婦人會には必ず小兒のお供がつくべき事を豫期せねばならぬ、然るに婦人會が婦人のみを目標として當然来るべき其の可憐な同伴者を没却する時に於ては、婦人會は到底其の成果を納め得る事は出来ない、何故といふに、始めは親達に云ひふくめられて他所行き氣分不自然な沈黙を守つて居る小兒達が、會の順序の進むに従え、夫れが自分等の世界とは全然何等の交渉のない事を知るに至つて大なる倦怠を覚え、彼等の奔放自在な活動が開始される、是れが爲めに折角の會合は全くの騷擾化し、如何に幹部連が氣を揉んでも、どう

にもならぬ小兒天國を展開する、茲に於てか婦人會は其の効果を滅茶々に破壊し盡されるのである、故に主催者は此点を念頭に入れて考慮をめぐらす必要がある、即ち婦人會の子供の来るべき事を豫期しての對策を豫め構じてかゝらねばならぬのである、夫れには其日だけの托兒所を開設してはどうであらうか會合には出席したいが自分にはコブ付きであるから他に迷惑を掛けてはとの引込思案から出席を見合す會員も決して少くはない、若し婦人會が「托兒所の設備がありますからゼヒお子さんをお連れ下さい」、開會中は責任を負つてお子さん方をお引き受け致しますから御心配はありません」といふ様な型に依つて開かれるものであつたならば當日の會衆は從來に倍加するであらう事を保證する、故に托兒所は斯かる際にも有効な機能を發揮し得べき一つの未開地である事を知つて此の方面にも活動の進出を圖るべくお勧めし度いのである、先日の平婦人會の總會には矢張り御多聞に洩れず、小兒の來會多き結果として其の喧騒に依り會場の後方には折角の大江女史の名講演も聞き取れず、多數の會員をして失望せしめた、此際若し托兒所の設備があつたならば、斯かる恨事も未然に是れを防止し得たであらうと遺憾に感じ一人である、是非今後の總會に於ては併せて托兒所も開き、母親の修養の機會に子供達にも喜びを頒たん事を切望するものである。

石城各小學校より慰問狀發送を決定

本郡出身在滿勇士へ 昨日の教育部會で

既報石城郡各小學校の兒童より在滿勇士に贈るべき慰問狀は昨日の郡教育部會總會に於て會會長より滿場に諮つた處勿論一名も異議なく決定其の方法は幹部一任となつた

石城の炭界 常磐炭鑛界の向冬で活況 鑛界の去月末山元出炭狀況は賣炭

ので計數では尙前年同期より六十七車六百三十七噸少ない然し前月に較べれば需要期に入り断然増してゐるので微かながら山元は一段と活氣が漂つてゐる

控訴院長巡視

田中宮城控訴院長は来る十三日管内巡視のため來平の豫定である、

チュウリップ栽培 農試分場にて獎勵

農事試験場石城分場では農家の副業として收穫後の水田に裏作としてチュウリップの栽培を奨める事になり今明日中にこれが獎勵に關する趣旨書を各町村農會宛に配布する筈であるがチュウリップの植付は今月中旬が最もよく明年六月迄には全部收穫が終るもので切花或は球根の販路が廣く一般から喜ばれるものである

茨川堤防工事 縣費補助申請

石城郡赤井村地内茨川堤防は過般の大洪水により缺損村當局では災害復舊費として今回一萬二千二百四十一圓を議決することになりその内七千三百四十一圓を縣費補助に得べく八日縣に對し申請するところであつた

植田養鶏組合 新たに組織

農村不況對策として石城郡南部では最近盛んに養鶏を奨励し多角的農業經營の重要な使命を果してゐるが同地方は氣候風土が適してをり飼料供給に便利で且非常有利なところから植田町ではこの程養鶏組合を組織し組合長に同町長鷺清昇氏をあげ各組合が共同育雛の目的で近く鶏舎の新築をまつて名古屋より雛一千羽を購入飼育する豫定で目下會員募集中である

共同線と連接

平郵便局の本年度電話共同線及び連接加入申請は来る十日より十七日迄受付を開始する事となつたが同電話の設備費は共同線加入八十五圓、連接加入六十五圓で外に登記料として共同線十圓、連接四圓を要すと

品評會 郡下各地に

石城郡農會では農家の收穫時を見越し生産物の品質向上を計る爲め農産物の品評會を各地に行ふべく計劃中であるが本日迄に判明せる農産物品評會の開催地は次の如くである

- 十一月十四、十五日 川前村同村桶賣小學校
- 十一月廿、廿一日 上遠野、入遠野聯合品評會
- 十一月廿二、廿三日 上遠野小學校
- 十一月廿二、廿三日 八村小學校 同日平渡

兒童の 無料散髪

平理髮組合では明日より一週間は健康週間中平各小學校の兒童を無料散髪する事になつた

衛生映畫上映 各館の日割

明日より十六日迄全縣下に行ふ健康週間中の平各各種催物のうち縣より配付された衛生映畫「光明へ」全四

四月からの成績を見ると約二萬二千圓の收入減を來してゐる

往來

- △青沼隆太郎氏 八日午前十時卅三分福島より歸平
- △伏見平町長 九日午前五時二十分上京
- △吉田同助役 同右
- △佐々木同町議 同右

平町人事

- △平町白銀町 當時石城郡湯本町三浦根本昇吉氏三男武夫
- △道匠小路二七 長澤忠平(二四)

新趣に輝き 實價を誇る

各種 運動服 器具 裝

大廉賣

平・田町 大運動具店 電七七番

上田科醫院

平町 南町 電話二一九番

元警中柔道選手(赤坂縣議)の近親者) 暴漢に殴られて死亡

料理店で遊興中の加害者 平署に捕はる

平町番匠町大關佐吉(七)は去月卅日夜平驛前通り藤彦カフエー前路上にて石城郡上遠野村赤坂端(三)に喧嘩を

賣り掛け赤坂が電信柱に寄り掛つて居た隙を見濟し突如襲ひ掛つて突き倒し傍らにあつたマルトモ食堂の植木鉢にて散々に頭部顔部等を殴り付け重傷を負はせたが赤坂は此の負傷が因で歸宅後二三日を過ぎ死亡した平署にては被害者の死亡と共に俄然活動を開始

し去る六日大關が田町某料理店にて飲酒中を逮捕し同署に留置嚴重

は感心な兵隊さんとして直ちに聯隊本部に對して調査の上表彰してくれるやう通知した。

高田水兵さん

またも美舉

薄給の中から貯蓄し 故郷の困窮者へ寄附

平町鎌田町出身で目下横須賀鎮守府所屬の巡洋艦乗組水兵として服務中の高田清二(三)君は水兵の薄給の中から貯蓄し平町内で生計に苦む者へ與へて下さいと本日平署へ金四圓の爲替を同封して寄越し署員を感同せしめたが同君は此迄にも數回平署へ爲替を送つて居るので今更ながらその感心な志は一般から感服されて居ると

奇特な人々

故郷の困る人へ

感心な一兵士

好間村出身の朝鮮兵が 匿名で金五圓を寄越す

石城郡好間村出身の朝鮮咸鏡第七十四隊の一兵士より七日村役場に匿名でわれ／＼に對して郷里の人々が擧つて金品を贈つて下さることは只々感謝のほかありません、われは勇氣百倍して御國

のために盡して居ります

が郷里には不景氣のため

その日の生活にも困つて

ゐる人々があるといふこと

とすからさうした人々

にこれをやつて下さい

としたため金五圓の爲替

券を送つて来た、村當局で

お婆あさんの 美しい心かけ

満洲兵へ雜巾慰問

石城郡好間村字稻荷下の鈴木ぬいといふ七十に近いお婆さんは暇にあかして縫ひ上げた雜巾三百枚をこの程村役場に持参しこれを賣つて村出身の在滿兵に對する慰問品でも買つて下さいと寄附を願ひ出たが村當局ではその志に感激してゐる

撞球優勝者

昨日の結果

タイラビリヤード披露撞球競技大會は昨日正午より開催、白井三郎、山野邊義政、小田榮三郎、田村參也の四氏審判の許に六十餘名の會衆鑄を削つた結果優勝の勝者左記の如くであつたと

- (本賞) 1 鈴木雄治 2 高田未治 3 松澤秀太郎
- 4 細谷武雄 5 山下二
- 6 小齋五郎 7 吉江政治
- 8 山崎要治 9 鷺廣治
- 10 小島定一
- (カップ賞) 1 小島定一
- 2 千葉彦治 3 佐藤四郎
- 4 田村參也

明日のラジオ

放送台仙

報後氣天 今晩は南風曇り明日は南西の風小雨模様

今晚の部

- 後六、〇〇 お話「東北の子供」二階堂清壽
- 後六、三〇 英語講座「初等科」(二十五) 村岡博
- 後八、〇〇 落語「太鼓腹」春風亭柳好
- 後八、三〇 マンドリン四重奏と合奏 仙臺A.M.オーケストラ
- 後九、〇〇 獨唱とギター

明日の部

- 前九、一〇「料理献立」
- 前一〇、三〇 家庭講座「子供の遊びとお話」盧重常
- 後九、〇〇 仙臺「會津大津繪」他
- 後九、一五 札幌「追分節」

二敗

リーグ戦況

平野球聯盟主催在平野球チームのリーグ戦は八日から警中、平商兩球場で開演したが昨日八日の戦績左の如し

平商12	2 遞友
平俱22	A 21 遞友
警中11	8 鐵道
勝2	1 1 0 0

懸賞付藝妓

目下搜索中

石城郡植田町字植田福本事小林ひで方抱藝妓鈴香事仲野ふみ(三)は去月廿七日行衛不明になつたが茨城縣太子町方面にゐるらしいので小林方では八日懸賞金五十圓で其筋へ搜索願ひを出した

學年對抗競技

警城中學校では從來毎秋行つて来た全生徒のマラソン競走を今回廢止し十四日午前八時より各學年對抗の各種競技會を行ふ事になつた

浪曲近日開演

十一、十二の兩日聚樂館にて東都浪曲獨歩の至藝家宮川左近一行を招き開演する由にて目下各地に前賣券發賣中なるも大家故に前人氣よいと

平職業紹介所便り

- ▲求人部
 - △調理器具店員 十六歳十八歳、住込給料面談、(田町)
 - △染物見習 十三歳乃至十五歳、住込給料小使、尋卒以上(五丁目)
 - △飲食店女給 十六歳乃至廿歳、住込月五圓(田町)
 - △撞球場ゲーム取 十五歳乃至廿歳の女、尋卒以上(田町)
 - △出前持 十四歳乃至十九歳給料面談(田町)
 - ▲求職の部
 - △土工、四十一才 尋三修(鎌田町)
 - △事務員、廿才、鐵道學校業務課卒(小川村)
 - △難夫、四十二才、無學通勤希望(平町)
 - △女事務員、廿一才、私立女學校卒、弓道初段(平町)

小説 七五郎

(八十一)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

意氣地 (5)
それほどの心の冷え切つてゐる人に今更鬼や角言つたところで始まらないけれど、どうしてか私の心は……口惜しい憎いと思ひながら、是なり別れる氣になれないのは如何いふものだらう。

是が俗に言ふ片意地といふのか、未練といふのか知らないが、そんな心持ちで何處までもあの人につき纏まつていつたら、一体どうなることかしら、女はしつこく追ひ廻されるほど厭さが増してゆくのが、おしなべての男の心であるならば、いつかは必と諦めなければならぬ時が来る。

「諦めようとしても諦められなかつたら如何する。やつぱり女の弱さで死ぬと云ふより外に燃えるやうな自分の心を殺すことが出来なにかしら、然うだ随分惨なもの……と先から先へ考へてゆくと、赤い血の色を帯んだやうな太息も出るのであつた。

「いゝわ、別れなけりや納まりがつかないツツてえなら綺麗に別れてやつてよ。でもそれはあの人がほんとうに私の心を認めて呉れて

無理に其處まで自分の心を押し詰めて見ると、遺瀾ない悲しさがその下から湧いて出て、熱い涙がほろりと玉走るのであつた。

途端に忙しいスリッパの音が聞えた。はッと思つた彼女が急いで目を拭いて居す



「あら、お歸んなさいました……如何でございませう」と何んといふことなしに軽い胸さわぎがした彼女は椅子にかゝるのも待閑かしさうに問ひかけた。

「いやア……實は何とも……話の外ですよ。」

儀助は妙に底力の籠つた聲で言つて、異常に緊張した顔の筋をゆるがせながら大きく息づいた。そしてかしくからへな〜に脚の曲つた一つのカンザシを取出しませう。」

「いや、そのカンザシが大變な騒ぎが押ツ始まつたんですね……」

「大變で、何です。」

椅子ごとづいと摺寄つた歌治の眼は急に脅かされるやうな不安に輝いた。そうして彼女は胸はどき〜として其の何事が出来たかを知らんとしたのであつた。

「それに見覚えがありますかあんなのぢや有りませんか」

と訊いた。歌治はさもなくば議さうにちつとそのカンザシへ目をやつて。

「あら……私のですとどうして貴老、それは何處

コンパルの改築

3階には西洋間が出来ました。
2階には宴会ホールと日本間。
1階の食堂は廣くなりました。

電六六六番

平驛前通

舊倍の御引立を偏に御願申す

うなぎ料理

◇いよいようなぎの季節……
◇御用命はせと江戸川へ

江戸川

平館前通 調理専門
(電話六七七番)

耳鼻咽喉科専門

平町南町一

増田醫院

電話四八二番

市原醫院
平町田町
電話一四番

秋深し!!!

山は紅葉して

カメラ絶対好のシーズン

秋は寫眞の一番よく撮れる時です。絶景川前溪谷の紅葉、今が見頃。秋晴れの楽しいカメラの一日……

優勝旗争奪戦

第三回 小型カメラ懸賞寫眞募集

規定表 十一月廿五日
發切 十一月廿六日

規定及詳細は當店ウインドーに掲載してあります

一等賞	高級名刺判カメラ	一組	一人
二等賞	最高級金屬パイプ製三段式三脚	一個	一人
三等賞	特製カメラ入靴	一個	三人
四等賞	現像定着液	一組	三人
五等賞	シヤリ臺紙一打或はアルバム一冊	一冊	十人

但シ應募寫眞五十枚に満たぬ場合は延期の事

カメラの景品付大特賣

十月二十日より十一月十日まで

- 回一圓以上のカメラ御買上の方には 種板半打及び印畫紙 一打進呈
- 回二圓以上のカメラ御買上の方には 種板一打及び印畫紙 一打進呈
- 回三圓以上のカメラ御買上の方には 種板一打(ベスト判は半打)進呈及び現像定着液一組

右期間後は絶対景品付きませぬ
カメラ買ふならこの賣出中!

いづみや玩具店

印刷物の御用命

て總は命用御
印刷日每警常
番〇三長話電

鳥小焼

い安の價。てくし味美

鳥肉商 南町 鳥菊

これからの「食物は……」

電話二六八番